

令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議

日時: 令和3年7月19日(月) 11:30~12:00

場所: 6階第2特別会議室

進行: 知事公室 特命推進課

次 第

1 開 会

2 議 事 首里城復興基金(寄附金)の正殿への活用事業について

3 閉 会

- (配布資料)
- (1) 資料 令和3年度 第2回 首里城復旧・復興推進本部会議
 - (2) 首里城復興基本計画(冊子)及び概要版パンフレット
 - (3) 復興レポート Vol.4

【議事事項】

首里城復興基金（寄附金）の正殿への活用事業について

首里城復興基金（寄附金）の主な活用事業及び決定時期

活用方針 第1・第2より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国内外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の城郭内の施設等の復元に活用する。

首里城正殿の復元まで （第1フェーズ）

令和3年7月12日時点

活用方針 第2より

※現在の寄附金
約52.7億円

【約24億円】

【】内は県で想定した
概算見込み額

【令和2年度 国と協議済】

(1) 正殿の木材調達に関する事業

○大径材(柱・梁・桁などの軸組に使用)の一部

→令和2年9月 国と覚書締結 令和3年4月事業開始

(2) 正殿の赤瓦調達に関する事業

→令和2年12月 国と覚書締結 令和3年4月事業開始

(4) 扁額などの室内装飾の復元に関する事業

○扁額→令和3年3月 国と協議同意 令和3年4月事業開始

【今回(令和3年7月) 国と協議予定】

(1) 正殿の木材調達に関する事業

○大径材を除く造作材(壁、天井、床などに使用)のうち県産材等

→令和3年7月 国協議予定 正殿復元工事に合わせ事業開始予定

(3) 大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、屋外彫刻の復元に関する事業

→令和3年7月 国協議予定 正殿復元工事に合わせ事業開始予定

(4) 扁額などの室内装飾の復元に関する事業

○扁額以外→令和3年7月 国協議予定 正殿復元工事に合わせ事業開始予定

正殿復元後 （第2フェーズ）

(5)～中略～北殿及び南殿
等の復元に関する事業

首里城復興基金（寄附金）の活用事業の選定の考え方（案）

R2.2.6 那覇市長面談での知事マスコミ応答

首里城の復旧・復興にあたっては、～国との役割分担については、**正殿を始めとした城郭内の建物に充当**していきたいということ、県から、多くの皆さんの想いとして、国に伝えていって連携・協議をしていきたい。

国との具体的な協議はこれからですので、**例えば正殿の瓦とか、龍柱**とか、国との協議でできたときは、那覇市とも協議をして、対応していきたい。

R2.3.16 沖縄県首里城復興基金の設置（条例制定）

第1条 **首里城火災からの復興を目的とする費用の財源**に充てるため～**沖縄県首里城復興基金を設置する。**

R2.7.30 首里城復興基金の活用に関する方針

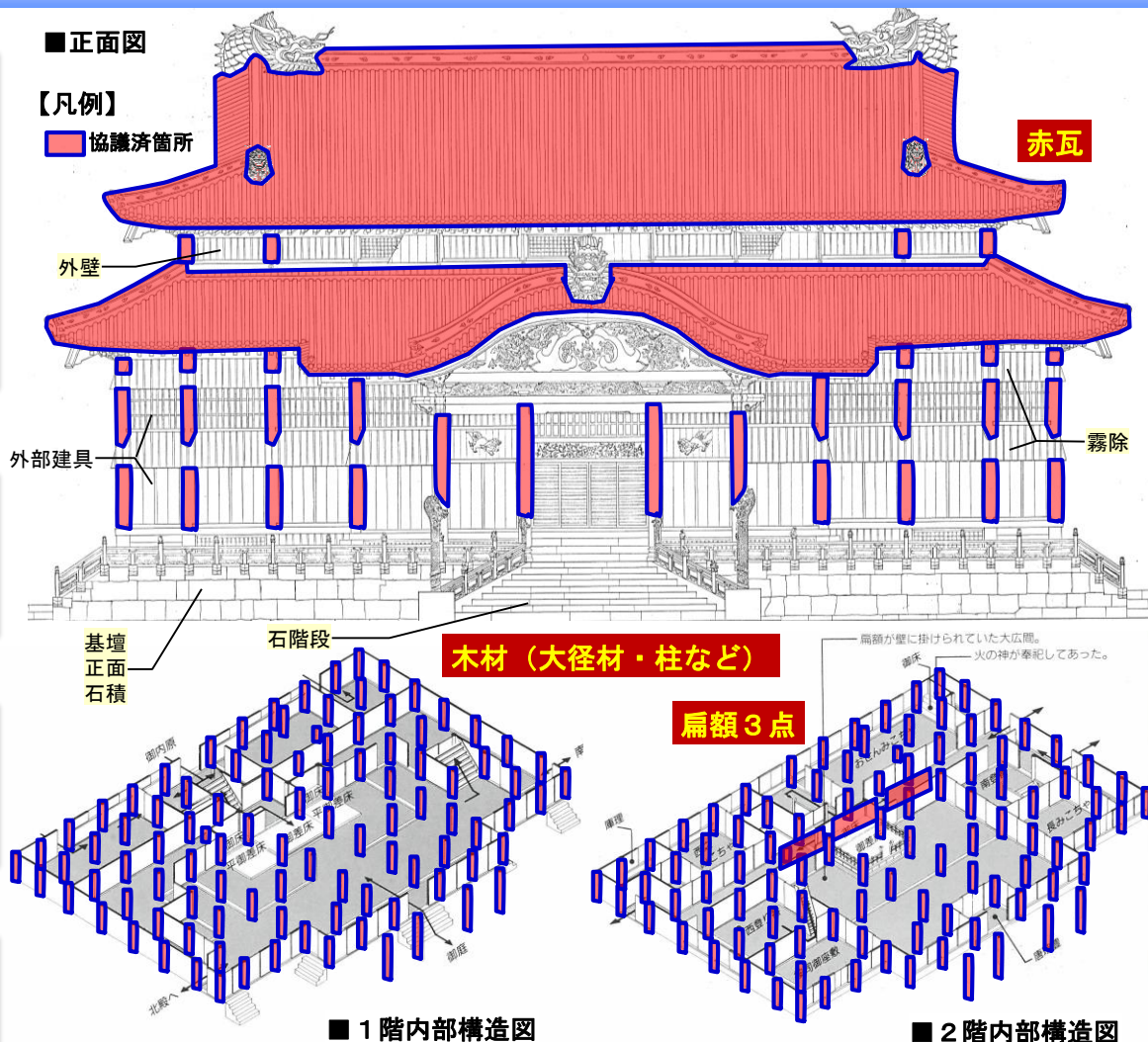
第2 2 前項に掲げる事業の実施にあたっては、**沖縄県内に蓄積、継承されている伝統技術を積極的に活用するものとする。**

R2.9.30 大径材の国・県協議での知事コメント

令和2年9月9日から10日にかけて官邸等へ要望していた首里城正殿復元工事に用いる大径材の調達について、国との協議が整いました。

沖縄県は、**寄附者の想いに鑑み、正殿に用いる柱、梁、桁などの部材のうち、首里城正殿を支える建築構造上重要な部材である柱材等に寄附金を充当**していきます。

沖縄県は、今後も国と連携・協力し、首里城の一日も早い復元に向けて、取り組んでまいります。



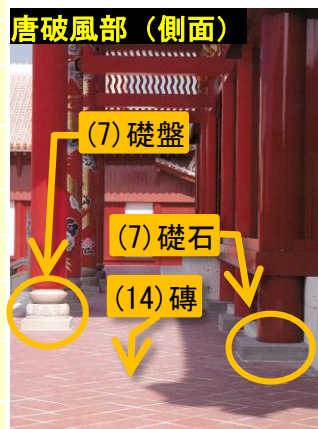
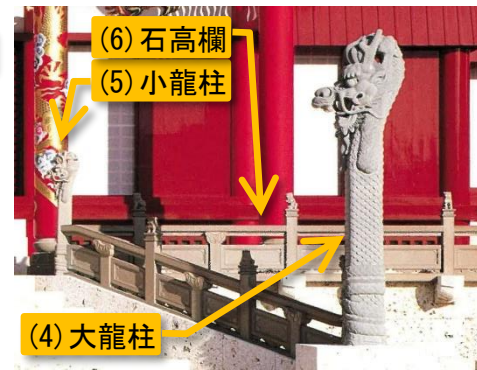
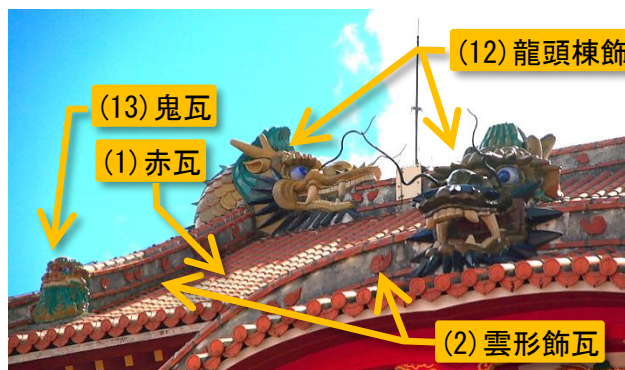
【主な事業（基金活用箇所）選定の考え方（案）】

- ・ 寄附者（来訪者）の目につきやすい「象徴部」
- ・ 県内に蓄積・継承されている伝統技術の活用に資するよう、県産材または県内職人が関わる箇所

首里城復興基金（寄附金）の正殿への主な活用事業（案）

部位		種類	名称
木材	-	大径材	柱材(国産ヒノキ) 向拝柱材(イヌマキ) 小屋丸太梁材
	-	大径材以外	角材(化粧材・県産材) 板材(壁・天井・床)
赤瓦	(1)	赤瓦	瓦[正殿 約60,000枚] 金型・機材・環境整備
	(2)	瓦類	雲型飾瓦[約280個] (うんけいかざりがわら)
室内装飾	(3)	漆芸	扁額[3点] (へんがく)
屋外彫刻	(4)	石彫刻	大龍柱/台石
	(5)	"	小龍柱
	(6)	"	石高欄/持送石 (いしこうらん)
	(7)	"	礎石[105個] 礎盤[4箇所×3段]
	-	"	石階段/基壇正面石積
	(8)	木彫刻	懸魚(げぎょ)
	(9)	"	唐破風妻飾 (からはふつまかざり)
	(10)	"	向拝 透欄間 (こうはい すかしらんま)
	(11)	"	向拝 奥の彫刻物 (こうはい)
	(12)	焼物	龍頭棟飾[3個+胴体] (りゅうとうむなかざり)
	(13)	"	鬼瓦[4個] (おにがわら)
(14)	"	磚[約1,500枚](せん)	
室内装飾	(15)	布飾り	1階 御差床環珞 (うさすかようらく)
	(16)	造作・彩色	1階、2階 御差床台 (うさすかだい)
	(17)	造作・彩色	2階 御差床 (うさすか)

【凡例】 青字：R2までに国と協議済
赤字：今回国と協議予定



県で製作し首里城内で国へ引渡し(彩色や設置等の現場作業を含まない)